

JIS

研磨ベルト

JIS R 6256 : 2006

(ACPA/JSA)

平成 18 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|-----------------|
| (委員長) | 植 松 敬 三 | 長岡技術科学大学 |
| (委員) | 安 藤 秀 征 | 黒崎播磨株式会社 |
| | 鵜 澤 孝 夫 | 硝子繊維協会 |
| | 荻 原 行 正 | 鹿島建設株式会社 |
| | 小 澤 宏 一 | JFE スチール株式会社 |
| | 片 山 康 三 | セントラル硝子株式会社 |
| | 阪 井 博 明 | 日本ガイシ株式会社 |
| | 福 泉 秀 明 | 東邦テナックス株式会社 |
| | 町 田 隆 志 | 株式会社日立製作所 |
| | 山 内 幸 彦 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 45.6.1 改正：平成 18.10.20

官 報 公 示：平成 18.10.20

原 案 作 成 者：研磨布紙協会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-6-2 神田セントラルプラザ TEL 03-3258-3071)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：窯業技術専門委員会 (委員長 植松 敬三)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、研磨布紙協会(ACPA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS R 6256:1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 2976:2005, Coated abrasives—Abrasive belts—Selection of width/length combinations** を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

JIS R 6256 には、次に示す附属書がある。

附属書（参考）**JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

| | ページ |
|-----------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1. 適用範囲 | 1 |
| 2. 引用規格 | 1 |
| 3. 種類 | 2 |
| 4. 品質 | 2 |
| 4.1 外観 | 2 |
| 4.2 特性 | 2 |
| 5. 接合方式, 寸法及び寸法許容差 | 3 |
| 5.1 接合方式 | 3 |
| 5.2 寸法 | 3 |
| 5.3 寸法許容差 | 4 |
| 6. 材料 | 4 |
| 6.1 基材 | 4 |
| 6.2 研磨材 | 5 |
| 6.3 接着剤 | 5 |
| 7. 試験方法 | 5 |
| 7.1 寸法の測定方法 | 5 |
| 7.2 引張強さ及び伸び率 | 5 |
| 7.3 接合部の厚さの許容差 | 6 |
| 7.4 耐水性 | 6 |
| 7.5 柔軟性 | 6 |
| 8. 検査 | 7 |
| 9. 表示 | 7 |
| 9.1 製品 | 7 |
| 9.2 包装 | 7 |
| 附属書 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 | 9 |
| 解 説 | 12 |

研磨ベルト

Abrasive belts

序文 この規格は、2005年に発行された **ISO 2976**, Coated abrasives—Abrasive belts—Selection of width/length combinations を翻訳し、対応する部分（種類、寸法及び許容差、並びに表示）については技術的内容を変更して作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目（種類、品質、材料、試験方法及び検査）を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、ベルト研磨機に付けて金属、木材などの研削・研磨加工に使用する、接合した研磨ベルトについて規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 2976:2005, Coated abrasives—Abrasive belts—Selection of width/length combinations (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS L 1096 一般織物試験方法

JIS P 8124 紙及び板紙—坪量測定方法

JIS R 6010 研磨布紙用研磨材の粒度

JIS R 6111 人造研削材

JIS Z 8401 数値の丸め方